

日本地域経済学会 総会議事

会員各位

12月6日に第32回大会（オンライン開催）を無事に終了致しました。本来ならば大会期間中に総会を行います。慣れないオンラインでは運用に不安を抱えることから、事前にお伝えしましたとおり、今回は「書面決議」で行うにことにしました。

2ページ以後に議事（12月4日に開催した理事会での承認事項）を記してあります。これに対して疑義や質問などがある場合は、12月末までに事務局に連絡を頂き、常任理事会にかけて議論を行い、変更そして理事会承認が必要なときはその案件を理事会に諮り、その後、書面などで会員にその結論をお伝えすることにしております。場合によっては会員全員に書面でお伝えします。疑義やご質問がない事項についてはご承認頂いたものとさせていただきます。

なお、このような状況です。本年度に限り、学会則の変更、これまで行ってきた事業の変更または新規事業の立ち上げなど、総会での承認が必要な重要案件については取り上げず、来年度に回すことにしました。以下、議事でございます。

議事

- < 1 > 新入会員および退会者について
- < 2 > 2019 会計年度 事業報告・決算および会計監査報告
 - [1] 大会の開催【日本地域経済学会 第 31 回京都大会】
 - [2] 学会誌『地域経済学研究』の編集と発行
 - [3] 2019 年度決算および監査報告
- < 3 > 2020 年度 委員会報告
 - [1] 企画研究委員会報告
 - [2] 編集委員会報告
 - [3] 国際交流委員会報告
 - [4] 奨励賞選考委員会報告
 - [5] 連携委員会報告
- < 4 > 2020 年度 予算案について
- < 5 > その他の報告事項

連絡先：日本地域経済学会事務局 011-841-1161 (内線 2736) 濱田 武士

E-mail : chiikikeizai60@gmail.com

なお、Facebook で情報発信することになりました。以下が URL です。

URL : <https://www.facebook.com/日本地域経済学会-14502061700257>

< 1 > 新入会員および退会者・除籍について (2019年12月1日~2020年11月30日)

【会員数 (2020年11月30日現在)】 286人

【新規入会者】 林 直樹 (京都大学大学院)、畠中昌教 (久留米大学)

田代達生 (株式会社十六総合研究所)、中川翔太 (明治大学大学院)、福田 順 (四天王寺大学)

鈴木 克実 (高知工科大学大学)、野田 哲夫 (島根大学)、章 立 (島根大学)

桐山 大輝 (東京農業大学大学院)、岡田 秀二 (富士大学) (以上 10 名、敬称略)

【退会者】 牧田修治 (四国大学)、高井克明 (国連地域開発センター)、仁昌寺正一 (東北学院大学)

吉田敬一 (駒澤大学)、上掛利博 (京都府立大学) (以上 5 名、敬称略)

【逝去】 なし

【除籍対象者】 なし

< 2 > 2019 会計年度 事業報告・決算および会計監査報告

(期間 : 2019 年 4 月 1 日 ~ 2020 年 3 月 31 日)

[1] 大会の開催【日本地域経済学会 第 31 回 京都大会】

開催期間 : 2019 年 12 月 6 日 (金) ~ 8 日 (日)

開催場所 : 京都橘大学 清香館

* 共通論題シンポジウム

テーマ 地域経済学の回顧と展望

* 自由論題報告

6 分科会 (セッション含む) ・ 20 報告

[2] 学会誌『地域経済学研究』の編集と発行

* 2019 年度は第 36 号 (2019 年 6 月発送)、第 37 号 (2019 年 10 月発送) を発行した。

【2019 年度の定期購読先一覧】

大阪商業大学図書館、早稲田大学中央図書館、一橋大学附属図書館

熊本学園大学図書館、立命館大学図書館、

立命館大学図書館サービス課 (BKC) メディアライブラリー、金沢大学経済学類図書室

全国大学生協連図書サービス (横浜国立大学)、有限会社河原書店 (岡山理科大学)

東北大学経済学部図書館、株式会社いづみ書店 (広島大学)

都留文科大学社会科学部地域経済論研究室、岐阜経済大学地域経済研究所

広島経済大学地域経済研究所、龍谷大学 (生協書籍部)、愛知大学豊橋図書館

同志社大学人文科学研究所、久留米大学、帝京大学、松山大学生協同組合

(以上 20 ヲ所、2020 年 3 月 31 日時点)

[3] 2019年度決算および監査報告（期間：2019年4月1日～2020年3月31日）

収支決算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

単位：円

【収入の部】			2019年度		2019年度	備考
大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	予算対比	
受取会費	会員会費		1,590,400	1,501,000	△ 89,400	会員数286人
事業収益	図書売上	学会誌	84,000	66,000		
	大会開催	第31回京都大会(京都橘大学)	0	221,838		
雑収益	受取利息		1,010	1	△ 1,009	
	雑収入		1,000	0		
経常収益合計			1,675,410	1,788,839	113,429	
前年度繰越金			4,022,704	4,022,704	0	
収益合計			5,698,114	5,811,543	113,429	
【支出の部】			2019年度		2019年度	備考
大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	収支	
事業費	学会誌費		1,440,000	1,114,448	△ 325,552	
		第35、36号刊行編集・印刷・発送費	640,000	724,050		校正委託料122,472円を含む
		第37号刊行編集・印刷・発送費	400,000	390,398		
		第38号刊行編集・印刷・発送費	400,000	0		
大会事業費	大会運営補助(現地実行委員会)		592,000	335,740	△ 256,260	
	大会報告要旨集印刷費		200,000	64,000		
	外部報告者謝金・交通費		160,000	191,500		
	通信運搬費		70,000	0		
	事務局経費		40,000	30,240		
	雑費		120,000	50,000		
	編集委員会費		2,000	0		
	企画研究委員会費		100,000	8,616	△ 91,384	
	国際交流委員会費		30,000	0	△ 30,000	
	奨励賞選考委員会費		30,000	0	△ 30,000	
	奨励賞選考委員会費		200,000	55,000	△ 145,000	
	連携委員会費		50,000	60,324	10,324	防災学術連携体シンポジウムポスター印刷費10,324円
	関東支部研究会費		50,000	14,160	△ 35,840	
	西日本支部研究会費		50,000	0	△ 50,000	
	北海道支部研究会費		50,000	0	△ 50,000	
	選挙管理委員会費		100,000	106,620	6,620	
経常事業費合計			2,692,000	1,694,908	△ 997,092	
管理費	理事会費		180,000	306,240	126,240	
	会議費		30,000	46,740		会場費等(京都大会)
	旅費交通費		150,000	259,500		常任理事(東京開催2回分)
事務局費	事務局人件費		100,000	42,000	△ 58,000	
	事務局用品		100,000	31,000		
消耗品費	学会封筒作成費		70,000	125,548	55,548	
	事務用品		20,000	49,048		コピー代を含む
	通信費		50,000	76,500		
	通信運搬費		70,000	120,325	50,325	
	HP保守費用		20,000	25,365		
	旅費交通費		50,000	94,960		2カ年度分
	雑費		15,000	0	△ 50,000	
	振込手数料		5,000	8,211	△ 6,789	
	口座徴収料金		5,000	7,639		
	その他		5,000	572		両替機手数料100円、特別会計472円振替
経常管理費合計			485,000	602,324	117,324	
予備費			2,521,114	0	△ 2,521,114	
支出合計			5,698,114	2,297,232	△ 3,400,882	
次年度繰越金			0	3,514,311	3,514,311	
単年度収支差額(前年度繰越金及び予備費を除く)			△ 1,501,590	△ 508,393	993,197	

学会基金会計 収支決算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

【収入の部】			単位：円			
科目			2019年度 予算額	2020年度 決算額	予算対比	備考
大科目	中科目	小科目				
雑収益			0	472	472	一般会計から繰り入れ¥472
	受取利息		0	0		
収益合計			0	472	472	
前年度繰越金			2,184,528	2,184,528	0	
収益合計			2,184,528	2,185,000	472	
【支出の部】			2019年度 予算額	2020年度 決算額	予算対比	備考
大科目	中科目	小科目				
事業費			0	0	0	
	予備費		2,184,528	0	△ 2,184,528	
支出合計			2,184,528	0	△ 2,184,528	
次年度繰越金			0	2,185,000	2,185,000	
単年度収支差額(前年度繰越金及び予備費を除く)			0	472	472	

監査報告書

2020年11月5日

「日本地域経済学会」の2019年度会計（2019年4月1日より2020年3月31日）について、会計の監査を実施したところ、本会の会計事務は適正に処理されていると認められますので、報告します。

1. 監査の方法の概要



帳簿並びに関係書類の閲覧等により決算書類の正確性を検討した。

2. 監査意見

収支決算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。

以上

日本地域経済学会

監事 福沢康弘 監事 清水芳行 

<3> 2019 年度 委員会報告

[1] 企画研究委員会報告

I 構成メンバーと活動

◇メンバー

佐無田光、鈴木誠、多田憲一郎、松永桂子、岩佐和幸

支部理事（拡大委メンバー）：長尾謙吉（関東）、除本理史（西日本）、大貝健二（北海道）

◇この間の活動（メール会議）

II 本大会に関連する報告事項

【企画研究委員会関係】

(1) 自由論題プログラムについて（12月6日（土））

- ・エントリー件数

7本：個別3本、セッション1本（報告4本）

報告者の持ち時間：オンラインを踏まえ、30分設定（報告20分、質疑10分）

- ・プログラム（案）

《自由論題》【自由論題】（9:30～11:10）

座長：岩

佐 和幸

- ・李 永俊（弘前大学）・花田 真一（弘前大学）

「小中高の地域体験学習が地域愛着と就職地選択行動に及ぼす影響」

- ・倪 弁（京都大学大学院経済学研究科ジュニアリサーチャー）・章 立（島根大学大学院）・野田哲夫（島根大学）

「地方におけるシェアリングエコノミーの活用とその課題ー京丹後市における公共交通維持の取組とその課題ー」

- ・清水 芳行（北海道情報大学医療情報学部）

「農村過疎地域における医療の成立・展開と地域経済ー北海道北空知二次医療圏を事例としてー」

《セッション》【セッション】（9：30～11：25）

セッションテーマ「企業データの利用を通じた探索型分析の実践」

座長：池島 祥

文

- ・池島 祥文（横浜国立大学）

「企業データの利用を通じた探索型分析の実践」

- ・藤本 晴久（島根大学）・池島 祥文（横浜国立大学）

「企業データを活用した地域経済牽引力の見える化ー地域における取引 構造ー」

- ・三輪 仁（九州国際大学）・池島 祥文（横浜国立大学）

「産業ネットワークの多様性と都市類型」

- ・大貝 健二（北海学園大学）・池島 祥文（横浜国立大学）

「地域間ネットワークの地域的特性とその可視化」

(2) 共通論題シンポジウムについて （12月6日（日） 午後）

- ・プログラム（別紙参照）
- ・当初予定からの変更点
- ・横浜市都市整備局 IR 推進室より事前に快諾いただいたものの、10月16日に辞退の連絡。再検討を依頼したものの、結論は変わらず（10月22日）。
- ・佐無田先生経由で、横浜市文化観光局 観光振興課・MICE 振興課に打診したものの、調整つかず
 - ・代替案として、関西のインバウンド・IR の関係者でもある傍嶋則之会員に依頼

(3) 『地域経済学研究』 企画特集について

- ・公募のアナウンス
支部担当理事、共同研究プロジェクト責任者、セッション企画者、地域公開シンポ企画者宛に案内予定
- ・スケジュール
2020年12月 企画案の公募案内
2021年3月末 公募締切
2021年4月 企画研究委員会にて審議・承認承
- ・その他
2020年度は公募ゼロで、企画特集は設定されず。
仮に次回も公募ゼロの場合、上記共通論題テーマ案から企画を立てることも考えられる。

【支部研究会活動】

◇北海道支部

日時：2020年10月3日（土） 14:00～17:00

場所：オンライン開催（zoom）

内容：

- ・清水 芳行（北海道情報大学）
「農村過疎地域における医療の成立・展開と地域経済ー北海道北空知二次医療圏を事例としてー」
- ・今野 友輝（北海道大学・院）
「北海道の農村における移住・定住対策の進展に関する地理学的研究」
- ・情報提供・交換等

◇関東支部

日時：2020年11月22日（日） 14:00～16:00

場所：オンライン開催（Zoom）

テーマ：青森県を通して考える地域経済

・長尾 謙吉（専修大学）：

「地域格差研究からみた青森県」

・李 永俊（弘前大学）：

「小中高の地域体験学習が地域愛着と就職地選択行動に及ぼす影響」

◇西日本支部

2021年2～3月に、支部研究会の開催を予定

III 来年度の共通論題テーマ

◇2021年度（第33回）大会 共通論題テーマ案について

・企画研究委員会で4つの候補を立て、常任理事会で検討のいただいた結果、以下の案で進めたい。

・テーマ

コロナ危機と地域経済／ポスト・コロナ危機時代の地域経済の国際比較

・趣旨

コロナ問題は、地域経済の発展をグローバル経済など外需依存によって推し進めてきた地域政策のあり方に猛省を迫るきっかけになりつつある。その上で、地消地産やマイクロツーリズム、自然エネルギーへの志向など、内発的発展を再評価しながら地域経済の再生を展望する傾向も生まれている。このような中、コロナ危機下で地域経済再生のビジョン・方法・成果・課題についての現状と方向性ならびに国際比較を試みる。

[2] 編集委員会報告

I 委員会体制

本委員会は、現在8名（豊福裕二、池島祥文、小山大介、栗田但馬、佐々木達、杉山武志、長山宗広、三輪仁）で構成されている。委員会の運営は、主としてメールでの提案と意見交換で行っている。

II 学会誌の編集状況

(1) 編集・発行状況について

第38号（企画特集号）を3月末に発行した。また、今年度は企画の応募がなかったため、第39号（大会特集号）は第40号との合併号として9月末に発行した。今年度はこの1号のみの発行となる。

編集業務については、この間、印刷業者の仕事は迅速であり、編集委員会との原稿のやり取りもスムーズに行われている。一方で、執筆者による原稿提出の遅れによって編集スケジュールの遅延を余儀なくされることも多くなっている。今後とも、会員各位には期日通りの原稿および校正原稿の提出につき、ご協力をお願いしたい。

(2) 投稿論文の状況

前回大会以降の新規投稿は4本、再投稿は3本であった。新規投稿については、2本が査読ののち掲載決定（次号に掲載予定）、1本は査読後の再投稿について査読中、1本が査読中の状態となっている。また再投稿については、2本が掲載決定となり39・40号に掲載されたほか、1本は査読後の再投稿待ちとなっている。

この間、比較的コンスタントに投稿はなされているが、一方で、合併号が続くことで会員による論文の公表機会の減少と掲載時期の遅延という問題も生じている。この点に関連する問題について、Ⅲで提案を行いたい。

(3) J-STAGE への対応

現在、14号、16号および18号～37号が公開中である。今後も順次バックナンバーの登載作業を進めていく予定である。

Ⅲ 連続投稿の扱いについて

現在の投稿規程には、次のような規程がある。

(vii) 同一投稿者による同一又は類似の論文については、特殊な場合を除き、原則として2号以上にわたって連続して掲載しない。

しかし、現在のように合併号が続くと年間1号のみの発行となるため、仮に類似の論文を連続して投稿しようとする、次の掲載が2年後になるという問題が生じる。そこで、例えば39号に掲載予定の論文があり、その後類似の論文が投稿され掲載決定となった場合、41号以降なら掲載可能と解釈し、41・42合併号に掲載するという形で運用を行うことにした。

[3] 国際交流委員会報告

I 委員会体制

本委員会は、委員長および、小田宏信委員、長尾謙吉委員の3名で構成されている。

II 活動報告

昨年度に加入が認められた日本経済学会連合における連携業務として、①外国人学者招聘対日補助の申請、②国際会議派遣補助の申請、③英文年報への執筆がある。

このうち、①と②を会員に周知して補助を獲得することを目指したが、新型コロナウイルスのため、いずれも募集が行われなかった。

新型コロナウイルスをめぐる事態が収束し、かつてのような往来が可能となれば、来年度の大会には韓国地域経済学会会員を招聘することを目指す。

III 決定事項

韓国地域経済学会との交流を円滑にすすめることを目的として、金淳植会員を国際交流委員に

加えることにした。

[4] 奨励賞選考委員会報告

奨励賞についてはコロナ禍のなかで委員会立ち上げや候補者・候補作品の募集を行えなかった。今年度分も含めて来年度に2年度分の募集と審査を行う。

[5] 連携委員会報告

連携委員会の活動（2019年12月～2020年11月）

◆今期の活動概要

<防災学術連携体との連携>

2020年度は大きな自然災害に見舞われなかったため、防災学術連携体を通じての、災害発生時の緊急的な情報収集・共有は例年よりは落ち着いていました。しかし、当然ながら、防災学術連携体の活動も新型コロナウイルスの感染拡大によって縮小気味になり、オンラインベースで進められています。本学会連携委員会としての具体的な活動としては、2020年3月に開催された第9回防災学術連携シンポジウムでの口頭発表と2020年6月に開催された防災学術連携体2020年度総会への書面参加になります。また、今後の予定として2021年1月に開催予定の第10回防災学術連携シンポジウム*へ参加します。

第9回防災学術連携シンポジウム「低頻度巨大災害を考える」

日時：2020年3月18日（水）

山川会長による報告資料は下記に掲載されています。

https://janet-dr.com/060_event/20200317/200318_all.pdf

動画コンテンツは下記からご確認ください。

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLlC1hpXv6lEn1mLSHfpjoTcENjEEvYiyC>

*第10回防災学術連携シンポジウム「東日本大震災からの十年とこれから—58学会、防災学術連携体の活動—」

日時：2021年1月14日（木）10時00分～18時30分

場所：東京医科歯科大学 鈴木章夫記念講堂（JR、東京メトロ、御茶ノ水駅下車3分）

定員：150名（会場：500名の定員を1/3に制限しています）、1000名（オンライン）

申込み方法：以下のURLをクリックして参加申し込みをお願いします。

<https://ws.formzu.net/fgen/S16396674/>

<日本経済学会連合との連携>

・第25期理事・監事選挙について

第25期理事・監事選出につき、10月23日から11月16日（消印有効）までを投票期間とする郵送投票が行われ、理事10名と監事2名が選出された。

< 4 > 2020年度 予算案について (期間: 2020年4月1日~2021年3月31日)

収支予算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

【収入の部】					単位: 円	
大科目	中科目	小科目	2019年度 予算額	2020年度 予算額	対前年度増減	備考
受取会費			1,590,400	1,601,600	11,200	会員数286人、納入率70%
	会員会費		1,590,400	1,601,600		
事業収益			84,000	31,500	△ 52,500	
	図書売上					
		学会誌	84,000	31,500		第39・40号合併号 (21冊)
雑収益			1,010	1,010	0	
	受取利息		10	10		
	雑収入		1,000	1,000		
経常収益合計			1,675,410	1,634,110	△ 41,300	
前年度繰越金			4,022,704	3,514,311	△ 508,393	
収益合計			5,698,114	5,148,421	△ 549,693	
【支出の部】						
大科目	中科目	小科目	2019年度 予算額	2020年度 予算額	対前年度増減	備考
事業費						
	学会誌費		1,440,000	900,000	△ 540,000	
		学会誌刊行編集・印刷・発送費	1,440,000	900,000		前年度は4号分(第35、36、37、38号)、今年度は2号分(第38、39・40合併号)、発注内容の変更で単価増(40万円→45万円)
	大会事業費		592,000	592,000	0	
		大会運営補助(現地実行委員会)	200,000	200,000		
		大会報告要旨集印刷費	160,000	160,000		
		外部報告者謝金・交通費	70,000	70,000		
		通信運搬費	40,000	40,000		
		事務局経費	120,000	120,000		
		雑費	2,000	2,000		
	編集委員会費		100,000	50,000	△ 50,000	昨年度実績に基づき減額
	企画研究委員会費		30,000	30,000	0	
	国際交流委員会費		30,000	30,000	0	
	奨励賞選考委員会費		200,000	50,000	△ 150,000	昨年度実績に基づき減額
	連携委員会費		50,000	50,000	0	
	関東支部研究会費		50,000	50,000	0	
	西日本支部研究会費		50,000	50,000	0	
	北海道支部研究会費		50,000	50,000	0	
	選挙管理委員会費		100,000	0	△ 100,000	今年度は理事選挙なし
経常事業費合計			2,692,000	1,852,000	△ 840,000	
管理費						
	理事会費		180,000	60,000	△ 120,000	
		会議費	30,000	30,000		
		旅費交通費	150,000	30,000		オンライン化で減額
	事務局費		100,000	50,000	△ 50,000	
		事務局人件費	100,000	50,000		人件費削減で減額
	消耗品費		70,000	70,000	0	
		事務用品	20,000	20,000		
		学会封筒作成費	50,000	50,000		
	通信費		70,000	292,000	222,000	
		通信運搬費	20,000	50,000		理事会等オンライン化(Zoom)で増額(2,200円×12ヵ月)
		HP保守費用	50,000	242,000		保守費用増(39,960円→55,000円)とウェブサイトのスマホ対応化(187,000円)で増額
	旅費交通費		50,000	50,000	0	
	雑費		15,000	15,000	0	
		振込手数料	5,000	5,000		
		口座徴収料金	5,000	5,000		
		その他	5,000	5,000		
経常管理費合計			485,000	537,000	52,000	
予備費			2,521,114	2,759,421	238,307	ウェブサイト管理会社との連絡がつかず、新たにウェブサイトを作成する必要が生じた際は予備費から支出する
支出合計			5,698,114	5,148,421	△ 549,693	
単年度収支差額(前年度繰越金及び予備費を除く)			△ 1,501,590	△ 754,890	746,700	

学会基金会計 収支予算書 (案)						
2020年4月1日から2021年3月31日まで						
【収入の部】			単位：円			
科目			2019年度	2020年度	対前年度増減	備考
大科目	中科目	小科目	予算額	予算額		
雑収益			0	0	0	
	受取利息		0	0		
経常収益合計			0	0	0	
前年度繰越金			2,184,528	2,185,000	472	
収益合計			2,184,528	2,185,000	472	
【支出の部】			2019年度	2020年度	対前年度増減	備考
大科目	中科目	小科目	予算額	予算額		
事業費			0	0	0	
経常支出合計			0	0	0	
予備費			2,184,528	2,185,000	472	
支出合計			2,184,528	2,185,000	472	
単年度収支差額(前年度繰越金及び予備費を除く)			0	0	0	

- ★ 2020年10月半ば以降、学会ウェブサイトの管理を委託している企業と連絡がつかなくなったことによる、ウェブサイトをどうするかという問題である。審議の結果、ウェブ管理会社との連絡を取ることを最優先し、当面はフェイスブック等による簡易版のページを作成する。現管理会社による継続が困難であると確認され、新たにウェブサイトを作成する必要が生じた際は、その経費を予備費から支出することが承認された。

< 5 > その他の報告事項

[1] 次年度の大会・総会の開催校について

次年度の開催校は福島大学。11月中開催を念頭に現在日程調整中。

[2] 学術会議会員任命拒否問題への対応

学術会議任命拒否をめぐって10月7日に学会公式HP上に常任理事会声明を掲載した。その後、人文社会科学系学協会連合連絡会から「人文社会科学系学協会連合連絡会による共同声明」に理事会として賛同し、参加した。

[3] 日本中小企業学会と日本地域経済学会との連携に関する企画

日本中小企業学会から学会間の連携に関する提案があった。2021年10月に福岡で開催される日本中小企業学会の前日に共催でシンポジウムを開催したいというものである。両学会の性格を考えて、中小企業政策と地域政策がオーバーラップしている、例えば地域未来牽引企業への支援などを論点として相互の学会交流、会員増強を図ろうとするものである。この連携に関しては、連携委員会が窓口になること、新たに連携委員として大貝理事が加わることになった。